

【六甲高山植物園】8月7日(日)は「立秋」 オミナエシ、ハギ、ナデシコなど 秋の七草が開花！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、秋の七草が開花しました。猛暑が続いておりますが、8月7日の立秋を前に秋の七草のうち、キキョウ、ナデシコ、ハギ、オミナエシが開花し、秋の気配を感じさせています。特にオミナエシは、高茎草原の花畑にて群落で見頃になっています。



キキョウ



カワラナデシコ



ミヤギノハギ



オミナエシ

キキョウ (キキョウ科)

野山の草地に生える約50~100cmの多年草です。『万葉集』の中で山上憶良によって歌われた「朝貌(あさがお)の花」とはこの花のことである説が有力で、秋の季語として多くの歌人・俳人たちに愛でられてきました。

カワラナデシコ (ナデシコ科)

河原や山麓の日当たりの良い草地や岩場に生える多年草。『万葉集』を始め、『古今和歌集』、『枕草子』、『更級日記』といった古典中に多くの記述がみられ、日本人女性を例える大和撫子の語源となったことでも有名です。

ミヤギノハギ (マメ科)

高さ1~2mの落葉低木で、紅紫色の蝶形花を咲かせます。古来より宮城野原(現在の仙台駅東側)のハギの美しさは多くの和歌に詠まれており、この宮城野のハギから名づけられたのが本種です。1955年には宮城県の「県花」に制定されています。

オミナエシ (オミナエシ科)

60~100cmに伸びる茎に、黄色の小さな花を散房状につけます。『源氏物語』『紫式部日記』『枕草子』『狭衣物語』などの平安時代の文学にたびたび登場しており、雅人が好む花だったことが伺えます。

■六甲ケーブル車両故障による運休及び代替バス運行について

六甲ケーブルは、車両故障のため現在運行を休止しており、運行再開までの期間は代替バスを運行しております。上り・下りともに始発7時10分~終発20時45分、一部時間帯を除き毎時0分、30分に発車します。ご乗車の際は、[片道:大人600円、小児300円]の乗車運賃が必要です。なお、バスの座席に限りがございますので、混雑時には待ち時間が発生する場合がございます。皆さまには、ご不便お掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆お問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生以上)700円/小人(4歳~小学生)350円

【開園日時】~11月23日(水・祝) ※期間中無休/10:00~17:00(16:30受付終了)

【駐車料金】平日:500円、土日祝:1,000円、8月11日(木・祝)~15日(月):2,000円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。